



ココロくん

南小だより 3月

* 3月の道德の日 *
「尊敬・感謝 愛校心」



あけまちの丘から 校長だより

北庭から「ホー ケキョケキョ」とかわいいウグイスのさえずりが聞こえてきました。生き物たちが春を運んで来てくれています。

北庭の西にあるかがやきの里の水も温んできたようなので、PTAや飼育担当の職員と3年生の子どもたちが、飼育していたホタルの幼虫を放流しました。去年は500匹くらいでしたが、今年はなんと1500匹は育ったようです。3つの大きな水槽から、全部の幼虫を放流するのに3時間かかりました。ここまで育てるには、数が多い分、えさもたくさん必要でした。水が汚れると育ちが悪いので、きれいな状態を保ちました。小さな虫かごの中で生まれた小さな卵から、こんなにたくさんの幼虫が育ったことに感激しました。

幼虫はしばらく水の中で過ごし、やがて上陸し土にもぐってさなぎになり、成虫になるのを待ちます。成虫になれるのはその1割くらいだそうです。5月下旬から6月上旬には光を放ってとび、私たちの目を楽しませてくれることと思います。

3センチほどの幼虫に、時期が来たら自分の力で水から這い出て土にもぐり成虫になるというメカニズムが組み込まれていることに驚きます。人間も月が満ちると生まれ出て、這う、立つ、歩く、話すなど教えずともできるようになる力を持っています。大人の役割は、その力が発揮できるように環境を整えることにあると思います。

卒業する6年生は、たくましい身体つきになり小学校を巣立つにふさわしい成長を遂げました。その姿には新たなステージでさらなる自分の可能性を見付けたいという希望がみなぎっています。他の学年の児童も1年間でたくましく成長しました。常にしっかりと子どもたちを育てていらっしゃるご家庭や地域の皆様に敬意を表しますとともに、学校の教育活動へのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

3月の生活目標 「責任を持って行動しよう」

「責任」という言葉には、「責任を取る」などの負のイメージや「責任を持つ」などの重いイメージを抱いてしまう人もいられるかもしれませんが、しかしそれぞれが責任を持って行動することは、誰もが自由にいろいろなことに挑戦するのを可能にするルールでもあります。もし、自由だけを主張して行動すれば、社会は自分勝手な人であふれてしまいます。「有言実行」を合い言葉に、よいと思うことを自信と責任を持って行い、一人一人の心の成長が見られる3月にしてほしいと思います。

(生徒指導主事)

小中連携の推進 —牟礼地区の将来の担い手づくり—

牟礼中学校区では、中学校と3小学校が小中連携協議会を設置して、小中の滑らかな接続を図り、教育効果を高めようとしています。小中学校の教員が、学力向上、豊かな心、人権同和教育、特別支援教育の4つの部会に所属して、話し合い、目標を共有し、共通行動を決めて取組を進めてきました。ノーメディアデーはその一つです。

先日は牟礼中ブロックのPTAが主導して教育講演会を開催しました。青少年の立ち直り支援等で著名な岡田 倫代氏をお迎えし、思春期の子どもたちへの関わり方を学びました。実際の悩みを講師に相談できるコーナーもありました。誰もがいろいろな悩みを抱えて子育てをしていることに気づき、ともに子育てをがんばっていこうという連帯感が生まれました。牟礼地区の子どもたちをみんなで育てる意識を持つことで郷土愛が育まれると思います。(小中連携教育担当)